

質問 市民が憩う緑についての市の役割と考える。

質問 ①木陰がない公園がある。熱中症対策の観点から木陰づくりを行う考えは。

②市の水と緑のネットワークの保全・創出の観点から、昭島駅北口大規模開発エリアの緑を失うことはできない。緑化推進基金の見直しや他の基金の創設により、一部区画を買い取る考えは。

市民参画で考える公園の活用について
みらいネットワーク 林 まい子 議員

③昭島駅北口大規模開発について、緑を残すために、環境基本条例に照らし、最大限努力すべき。

答弁 ①他市の先行事例も参考に、どのような対応ができるのか研究していきたい。②非常に困難性がある。③環境施策を進めるため、意見を聞き、調整していく

める協議の場を設ける考えは。②インクルーシブ公園整備の検討状況は。③防災インフラや健康器具の有無、球技が可能かどうか、既存のアダプト団体の取り組み等を市ホームページから情報提供する考えは。④部署連携と市民参画を実現するために、ワークショップ開

飛行ルートや飛行時間等、日米合意が守られておらず住民の安全が担保されていない。日米合意の遵守を求めるべき。

答弁 国の責任において調査等を実施し、必要な対応を講じるべきである。

質問 子ども・若者未来対策推進計画の策定について、基地本来の機能と異なる訓練は、騒音等市民生活への影響が甚大であり容認できるものではなく、周辺5市1町で要請していきたい。オスプレイの配備について、様々な考え方がありと承知しているが、国防政策に関することは、市が判断する立場にはない。

質問 横田基地の航空機の運用について、飛行高度、



楽しいねっ
(エコ・パーク)

催や計画策定を行う考えは。

答弁 ①これまでの運用等を検証しながら、検討していきたい。②新たな公園整備や大規模改修の際には検討していきたい。③利用しやすいように、総合的にどのような案内が良いか、検討していきたい。④公園新設の際には、市民の声を聞きながら、庁内連携にも取り組んでいきたい。既存の公園についても、地域の方と連携し、良い公園にする研究をしていきたい。

質問 スポーツの推進について、①誰でも安全・安心に楽しめるeスポーツは、驚異的なスピードで進化しており、他市ではまちおこしの手段等として活用されているが、昭島市の基本的な考え方や今後の展開は。②昭和公園のテニスコートは状態が悪いとの声がある。砂入り人工芝化を進めていく考えは。③立川基地跡地にある残堀川調節池の運動場の整備は、しっかりと進めていくべき。考えは。

一般質問 (要旨)

③策定に向けた今後の進め方は。

答弁 ①国が実施した子供の生活状況調査等を踏まえ決定した。②子どもにのいる世帯の養育環境や経済的に困難を抱える世帯への支援等が課題と捉えている。③庁内で作成した計画原案を外部委員会である青少年問題協議会専門委員会及び子ども・子育て会議において審議して素案を作成し、その後パブリックコメントを実施し4年度中に策定する。

質問 スポーツの推進について、①イベント等へのeスポーツの導入による地域に楽しめるeスポーツは、活性化等の取り組みについては、国や都、近隣自治体などの動向を注視する中で、取り組みの方向性を見極めたい。②現在のクレーン

①イベント等へのeスポーツの導入による地域に楽しめるeスポーツは、活性化等の取り組みについては、国や都、近隣自治体などの動向を注視する中で、取り組みの方向性を見極めたい。②現在のクレーン

無 会 派 八田 一彦 議員

答弁 ①令和元年の調査によると、昭島市では、延べ98人が参加し、2人が創業した。創業ワンストップサービスは、延べ54人が参加し、4人が創業した。②新たな事業の予定はないが、チャレ

質問 中小企業の支援について、状況を注視していきたい。

答弁 ①令和元年の調査によると、昭島市では、延べ98人が参加し、2人が創業した。創業ワンストップサービスは、延べ54人が参加し、4人が創業した。②新たな事業の予定はないが、チャレ

①令和元年の調査によると、昭島市では、延べ98人が参加し、2人が創業した。創業ワンストップサービスは、延べ54人が参加し、4人が創業した。②新たな事業の予定はないが、チャレ

質問 心身障害者へのガソリン代助成の増額があるが、タクシーを利用しなければならぬ心身障害者のタクシー利用者が助成の対象にしなければ公平でない。増額を図るべき。

答弁 ガソリン代高騰による自己負担の増額に対応するため、助成額の増額を図るものである。

質問 物価高騰等への対応として、水道料金の減免の支援などは、重要な取り組みである。減免等の期間が事業ごとに異なるが、その考え方は。

答弁 限られた財源において、なるべく長期の対応が図られるよう、全体を見てそれぞれの事業の支援期間を決定した。

質問 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対する支援について、医師会や市内の医療機関とも連携していくことが必要と考える。現状の対応は。

答弁 都が中心となって支援を実施している。市は、都から生活物資等が届くまでの間を補完する食料の配付支援を実施している。

無 会 派

質問 授乳室について、受付の窓口と並んでいた方が、授乳などに行くと並び直さなければならぬ。番号札を渡すなどの対応をしては。

答弁 保育所等の入所受付の際には番号札での対応をしているが、他にもスムーズな対応を検討していきたい。

質問 水道料金・下水道使用料の減免について、①考